

主なご意見と回答【概要版】

1 生涯学習施設の位置付けの見直しについて（184件）		
意見分類	件数	回答
<p>①見直し案の内容に賛同する。</p> <p>・これまでの生涯学習は学ぶことだけでよかったかもしれませんが、少子高齢化、人口減少時代を迎えて、学ぶだけでなく、学んだことを社会に還元することを促していくこと、積極的にまちづくりに関わる活動を推進していくことが重要だと考えるので、生涯学習施設の位置付けの見直しには賛成です。</p> <p>・地域住民のまちづくりの拠点として、生涯学習施設はなくてはならないものと考えます。</p>	69	ご意見ありがとうございます。
<p>②まちづくり活動の支援、地域で活躍する人材の育成という視点を加えたのは良い。</p> <p>・各地域に在住する人たちが自分たちの地域に誇りと自信をもってまちづくりをしていこうという気運を高めるとともに、そのような人材づくりは大切だと思います。</p> <p>・少子高齢化が進むなかで、地域での共助がますます重要となります。地域の拠点として施設が活用されるためにも、位置付けを見直すべきだと思います。</p>	51	ご意見ありがとうございます。
<p>③位置付けの見直しを行う必要はない。見直しには反対する。</p> <p>・生涯学習センターと生涯学習交流館は設置目的が異なっていたため、統一化を図るのはとても難しいことだと思う。自治会等のまちづくりを活性化させることが必要なのは理解できるが、生涯学習施設であるからには多様な学習ができるような施設づくりを目指すことも大切なのではないのでしょうか。</p>	21	平成29年に策定した「生涯学習施設の配置適正化方針」において、地域コミュニティの活動の場の充実がまちづくり活動の活性化につながるという考えのもと、今後、生涯学習施設を「学びの場」に加え、「地域コミュニティによるまちづくりの活動の場」としても活用していくこととしました。また、今後も充実した生涯学習活動を継続し、生涯学習施設を維持し、次の世代につなぐ施設運営ができるようにするための見直しです。「地域コミュニティによるまちづくりの活動の場」としての生涯学習施設へのご理解をお願いします。
<p>④生涯学習施設の位置付けを旧静岡市に合わせるような内容で賛同しかねる。</p> <p>・清水市時代の長い歴史が良きシステムに確立していると考えます。見直す必要がないと思います。</p> <p>・旧静岡市と旧清水市各々のやり方が違うのが問題ならば、旧清水市の方式に統一することを考えてください。</p>	6	旧清水市の公民館で行われてきた子育てに関する取組や軽運動などの活動、また施設を地域コミュニティの拠点として、また地域の人材育成の場として、長い間地域で活用していただいていたことに敬意を表します。今回の見直しは、そうした旧清水市の進んだまちづくりの考え方を、施設運営に活かしていくための見直しでもあります。今後は少子高齢化や財政規模の縮小などにより、地域の課題を地域で解決する活動がますます必要とされます。「地域コミュニティによるまちづくりの活動の場」としての生涯学習施設へのご理解をお願いします。
<p>⑤生涯学習施設は社会教育施設であり、学びのための施設であるべきと考える。</p> <p>・両施設とも主は社会教育施設である。次に考えるのは、地区住民が気軽に集まれるコミュニティ施設であり、行政の出先のサービス施設である。</p>	5	本市では、平成29年に策定した「生涯学習施設の配置適正化方針」において、地域コミュニティの活動の場の充実がまちづくり活動の活性化につながるという考えのもと、今後生涯学習施設を「学びの場」に加え、「地域コミュニティによるまちづくりの活動の場」としても活用していくこととしました。今後は少子高齢化や財政規模の縮小などにより、地域の課題を地域で解決する活動がますます必要とされます。「地域コミュニティによるまちづくりの活動の場」としての生涯学習施設へのご理解をお願いします。
<p>⑥生涯学習施設が、市民の交流の場や憩いの場、居場所であることを願う。</p> <p>・ここ数年の災害を考えた時、人とのつながりが大切だと思います。地域の人々が気楽に集まり話し合う事だと思います。場所が必要だと思います。</p>	11	生涯学習施設が「学びの場＋地域コミュニティによるまちづくり活動の場」としての役割を果たす中で、市民の方々の交流の場や憩いの場、居場所としても機能していくよう、今後も親しまれる施設づくりに努めてまいります。
<p>⑦位置付けの見直しにより、今までのような利用ができなくなるのは困る。</p> <p>・まちづくり活動を推進しているとしても、公共的団体が先に部屋を借りると生涯学習団体の活動を圧迫すると思います。</p> <p>・近くで学びの場があり利用していましたが、自治会、地域が優先になってきたら今でも抽選で落選する事もあるのに、もっと教室を利用できなくなるのではないかと心配しています。</p>	18	少子高齢化や市の財政規模の縮小などにより、地域の課題は地域で解決していく活動が、今後ますます必要となってきます。自治会等の団体が、交通安全、防犯など地域課題の解決にむけて活動する中で、地域やまちづくりを学ぶ人材が養成されていきます。このような地域コミュニティによるまちづくり活動を通じた生涯学習活動を促進していきたいと考えています。また、いただいたご意見を踏まえ、多くのご利用者にとってご納得いただける施設運営となるよう検討いたします。
<p>⑧見直しに基づいた具体的な取り組みや、周知が大切。</p> <p>・案で挙げられているような取組が全ての生涯学習施設で行われれば、それが理想だと思う。こういった取り組みを実際どのように行っていくのが課題。</p>	3	いただいたご意見をもとに、さらなる生涯学習活動の推進とともに、まちづくり活動の支援や地域人材の育成のための取り組みや周知に努めてまいります。

2 利用方法の見直しについて (403件)		
意見分類	件数	回答
<p>①利用方法の見直し案に賛同する。(見直し、一元化は当然と考える。)</p> <p>・清水区の交流館は元々地区の公民館として機能していたため、生涯学習センターとそもその設置目的が違うかもしれないが、合併し15年もたった今、同じ市の中で有料と無料の施設が存在しているということは、利用する市民にとって非常に不平等である。また清水区の施設使用料の収入が増えることで市民に還元される事が増えるのであれば、市にとっても望ましいことであると思われる。</p>	128	現在の施設の利用実態をみると、生涯学習センターにおいても生涯学習交流館と同様の活動が行われていること、生涯学習センターと生涯学習交流館で利用方法が異なることで利用しづらいのご意見もあり一元化をすることとしました。施設を将来にわたり継続的に維持管理していくために生涯学習施設においても、他の公共施設と同じように施設利用者に対し応分の負担を求めることが必要であると考えております。次世代につながる施設運営ができるようにするための見直しであるため、ご理解をお願いします。
<p>②利用方法を見直したり、一元化する必要はない。</p> <p>・従来通りにしてもらいたい。 ・各地域の利用状況は異なると思います。敢えて一元化する必要はないと思います。</p>	22	
<p>③一元化するならば生涯学習交流館、旧清水市の制度に合わせるべき。</p> <p>・まちづくりの拠点化という点では、清水区の学習交流館の方がよりきめ細かく対応できて、地域密着型でよいと思います。 ・生涯学習センターと学習交流館の利用方法の一元化については、活動推進の観点からむしろ学習交流館に揃えることが市の趣旨に沿っているのではないかと考えます。</p>	13	旧清水市の公民館で行われてきた子育てに関する取組や軽運動などの活動、また施設を地域コミュニティの拠点として、また地域の人材育成の場として、長い間地域で活用していただいていたことに敬意を表します。現在は、生涯学習交流館だけでなく、生涯学習センターにおいても、公民館時代から構築した地域との深い信頼関係を維持し行政と地域をつなぐ役割を果たしており、利用の実態からみた施設機能が近似してきています。また、施設の修繕や建て替え等老朽化への対策費用が必要となっている中、生涯学習交流館では約9割の利用が無料であるため、施設運営費に対する収入割合は生涯学習交流館では1%、生涯学習センターでは13%と低くなっています。施設を将来にわたり継続的に維持管理していくために生涯学習施設においても、他の公共施設と同じように施設利用者に対し応分の負担を求めることが必要であると考えております。ご理解をお願いします。
<p>④利用する人が施設使用料を負担することは当然(やむを得ない)と考える。</p> <p>・静清合併後も未だに利用方法が一元化されてこなかったことの方が不思議です。利用料金も民間の会議室と比べれば著しく安価であり、公益活動ではなく自らの学習活動での利用であれば、一定の料金を負担することは当然だと思います。また、同じ利用形態にもかかわらず、住んでいる区によって料金が異なるのは不公平であり、早期に料金も一元化すべきです。</p>	135	施設を将来にわたり継続的に維持管理していくために生涯学習施設においても、他の公共施設と同じように施設利用者に対し応分の負担を求めることが必要であると考えております。ご意見ありがとうございます。
<p>⑤使用料負担は活動の妨げとなる。使用料は無料、もしくはなるべく低額であって欲しい。</p> <p>・無料だから多くの人が利用して、豊かな活動ができています。有料化はやめて下さい。 ・市民の誰でも自由に使っているいろんな人と交流できる場所を目指すのであれば「無料」で提供していただけると、行きやすい場になると思います。</p>	35	公共施設を維持管理していくためには多額の費用が必要であり、現在の少子高齢化の潮流の中で、市の財政における公の施設の維持管理に係る負担の割合は増大しています。将来にわたり継続的に維持管理していくために生涯学習施設においても応分の負担を求めることが必要と考えております。生涯学習施設を維持していくため、今後も充実した生涯学習活動を継続していただけるよう、「(仮称)利用認定団体」については一般料金の半額として配慮させていただきました。次の世代につながる施設運営ができるようにするための見直しであるため、ご理解をお願いします。
<p>⑥使用料負担はやむを得ないが、優先利用の制度は継続して欲しい。</p> <p>・施設の利用の経費がかかるのは理解できますし、その負担も一部負担は仕方がないと思いますが、一年間を通じて計画を立て、会費を集金している学習グループが多い現在、それができなくなるような利用方法は反対です。</p>	3	ご意見を受け、利用方法の見直しが継続的・計画的な学習活動の妨げとならないよう検討してまいります。
<p>⑦継続的な活動は年間(何か月か先までの)予約できるような制度として欲しい。</p> <p>・市民が活用しやすい制度として、活動を年間計画で定めている市民参加団体には年間優先予約を認める必要があると考えます。</p>	29	
<p>⑧「地区公益活動団体」のみを優遇することに疑問を感じる。</p> <p>・地区公益活動団体と利用認定団体の申請開始日を同じにしてほしい。無料で前年度12月から予約できてしまうのは、利用認定団体にとっては不公平である。</p>	15	少子高齢化や市の財政規模の縮小などにより、地域の課題は地域で解決していくことが、今後ますます必要となります。そのためには、自治会等の団体が、交通安全、防犯など地域課題の解決にむけて活動することが大事となり、さらに、活動していくなかで地域やまちづくりを担う人材が養成されていくという効果も重要であると考えます。このような地域コミュニティによるまちづくり活動を通じた学習活動を積極的に促進していくため、「(仮称)地区公益活動団体」の利用について、他の団体よりも優先することを検討しています。
<p>⑨午後の区分の細分化はかえって利用しづらくなると思う。</p> <p>・午後の利用区分の新設に反対。単純に午後1時～3時、午後3時～5時の2時間ずつとすると、現在の15分前に鍵の貸出が可能なメリットが減る。また、前の団体が延長した場合、午後3時からスムーズに活動が出来ない恐れがある。 ・午後の時間帯を分割するのご意見が出ていますが駐車場の入れ替わり等難しいと思われる。</p>	11	利用の実態に合わせ、利用時間の区分の選択肢をひろげ、合わせて利用者の皆さまの使用料負担を軽減できるよう、現在の「午後(午後1時から午後5時)」の区分に加え、午後の前半と午後の後半の区分を新設するよう検討しています。なお、引き続き「午後」の区分での申し込みは可能です。それぞれの活動に合わせた時間区分で、ご利用いただくことが可能となります。
<p>⑩その他 使用料について</p> <p>・若年者の利用や子ども会等は無料でよいと思うが、自治会活動等は半額、生涯学習等は趣味の要素が多いので全額負担でよいと思う。</p>	7	今後、将来にわたって継続的に施設を維持管理していくために、生涯学習施設においても応分の負担を求めることが必要と考え、今回の見直し案を検討いたしました。現在の施設運営費に占める使用料割合は6%ですが、案のとおり利用方法の見直しを行った場合、その割合が12%に上昇する見込みです。今回の見直しにあたっては、地域コミュニティによるまちづくり活動を通じた学習活動を積極的に促進するため、また継続的な学習活動を支援する観点から、施設使用料の負担軽減の配慮をしています。
<p>⑪その他 団体区分について</p> <p>・(仮称)地区公益活動団体を市が認定する件について 公益的な活動を“なりすます”団体がでてきて優先的に施設を私的に利用しないか心配はあります。その辺の認定を公平にする手立てが必要だと思います。</p>	5	(仮称)「地区公益活動団体」をはじめとする団体区分と認定については、いただいたご意見を参考としつつ、今後具体的な基準、運用等を検討していきます。

3 その他ご意見（84件）		
意見分類	件数	回答
①施設の設備等についての要望 ・清水の施設が老朽化しているのは聞きますが、静岡市の施設でも建物、トイレ（和式）等が古く、小さな子供が利用しにくい部分は、少しずつ新しく改善してもらえたら助かります。	11	より利用しやすい生涯学習施設となるよう、改修等については計画をたてて実施していきます。
②利用方法等についての提言 ・利用団体の構成員、活動内容を精査して効率的に会議室が利用できるよう改善を望む。（パソコンによる単純抽選でなく、活動内容、利用人数に合った部屋割りができるようにしてほしい。）	12	いただいたご提言につきましては、今後の施設運営の参考とさせていただきます。
③施設の数や配置についての意見 ・施設を使用していない市民が8割以上いるのに40もの施設が必要なのではないでしょうか？老朽化しているのであれば、全て建て替え等せず、施設数を減らしてもいいかと思えます。もっと多くの市民が必要とする事に税金を使って頂きたいと思えます。	9	生涯学習施設の施設数、配置については、地域コミュニティの重要性が増す中、学びと地域によるまちづくり活動を行う場として、地域に身近な施設配置を維持していくことが必要と考え、当分の間、原則として現在の配置を維持することとしています。今後は、平成29年度に作成した「生涯学習施設の配置適正化方針」に基づき、建物の建替え、改修については「総資産量の適正化」、「長寿命化」を意識し行うものとし、公共施設の空き部分の活用なども視野に、学びの場や地域コミュニティ活動の場の充足を図っていきます。
④議論が不十分、説明会や利用者説明をもっと丁寧に行って欲しい。 ・2019年度は現行のままで2020年度から実施とのことですがそれであれば、2月議会で条例改正はしないで住民との話し合いを続けてください。	14	今回の利用方法の見直しにあたっては、特に現在施設を利用されている方々への影響があることから、葵区・駿河区で9回、清水区で21回の説明会を実施し、丁寧な説明を行ってきました。今後も、利用者をはじめとする市民のみなさまにご理解いただけるよう、見直しに関する周知を行っていきます。
⑤施設利用者を増やすための方策や、活動の支援策を考えるべき。 ・今の生涯学習施設利用者を見ていると高齢者が多く若者が少ないように感じる。有料化は必要なことだと思うが、もっと新しい人や若い人たちを増やしていくために、学生割引を行うとか、新しくサークルを始める人たちは使用料を安くするとか、市として何らかの策は取るべきだと思います。	10	いただいたご意見を参考とし、今後の施策を検討していきます。
⑥生涯学習センターと生涯学習交流館で利用方法に差があることに驚きを感じた。 ・静清合併から15年も経過しているのに、制度が統一されていなかったことに驚いています。受益者負担の原則を無視した旧清水市の制度は早急に改善すべきです。	7	生涯学習施設の種類による利用方法の違いについては、今回の見直しにより一元化していきたいと考えております。
⑦「生涯学習センター」、「生涯学習交流館」という名称についても統一した方が良い。 ・申請開始日や使用料だけでなく名称もどちらかに統一してもいいのではないのでしょうか。	3	「生涯学習交流館」、「生涯学習センター」のそれぞれの名称については、利用者にとってなじみ深いものであり、位置付けの見直しによって変更することは現時点では検討しておりませんが、ご意見については今後の参考とさせていただきます。
⑧利用している感想 ・毎月4回の踊りの練習で借りています。教室は広く、電気、冷暖房を自由に使わせてもらい、それで毎月安く使わせてもらっています。清水区は無料だそうだが、電気代など、どこからだすのかな？こんなに安く借りられる場所はない。ありがたいね。	3	いつも施設をご利用いただきありがとうございます。今後も市民の皆さまに快適にご利用いただけるよう、施設の管理運営を行っていきます。
⑨その他 ・本件とは直接関係はないが、生涯学習施設の機能は市内の公立学校で代替可能ではないかと思う。児童・生徒数が少なくなり、学校には空き部屋が多数あることに加え、小中高生をまちづくり活動に関与させる機会を作ることで、本計画案における「人材の育成」にも寄与すると考える。アセットマネジメントの観点からも、学校をもっと地域の拠点として活用できるようにしていただきたい。	15	いただいたご意見については、今後の市政の参考とさせていただきます。